

# 雪印「TM ウエット」使用の優良事例

雪印種苗(株) 千葉研究農場

岡田卓士

## はじめに

「TM ウエット」は、ケイントップ等に生ビール粕を加えて乳酸発酵させたサイレージ混合飼料で(府県限定販売, 表1, 2, 3), すでに販売を開始して8年が経過しています。本誌において, これまでも TM ウエットについて紹介してまいりましたが(96年8月号, 97年8月号, 9月号), 今回は TM ウエットを給与し, 好成績をあげている酪農家の事例を紹介します。

## 1 鈴木一郎牧場(埼玉県入間郡三芳町)

鈴木牧場では, 平成5年1月より TM ウエットをご使用いただき, 6年半が経過しています。それ以前はイタリアンのストローとオーツ, ルーサンなどの購入乾草を併用し, 年間1頭当たり7,500 kg 前後を搾乳していました。当時, さらに乳量を伸ばすための給与方式を模索していたところ, 平

表1 TM ウエットの分析例(乾物%)

| 乾物   | 粗たんばく | 粗脂肪 | ADF  | NDF  | NSC  | TDN  | Ca   | P    | Mg   | K    |
|------|-------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 40.0 | 15.4  | 5.7 | 36.0 | 56.7 | 13.9 | 61.4 | 0.30 | 0.33 | 0.24 | 1.12 |

1) サンプル数8の平均値, 平成3年~4年分析

表2 有機酸組成(現物%)

| 乳酸   | 酢酸   | 酪酸   | その他  | 総酸   | pH  |
|------|------|------|------|------|-----|
| 1.77 | 0.36 | 0.03 | 0.12 | 2.30 | 3.8 |

1) 平成8年~9年分析分(サンプル数23)

2) その他はプロピオン酸, バレリアン酸, カブロン酸

表3 成分変動(乾物%)

|      | 乾物   | 粗たんばく | ADF  | pH  |
|------|------|-------|------|-----|
| 平均値  | 41.6 | 14.8  | 36.7 | 3.9 |
| 変動係数 | 4.1  | 7.0   | 4.1  | 6.1 |
| 最大値  | 44.6 | 17.8  | 39.1 | 4.8 |
| 最小値  | 38.1 | 12.1  | 32.7 | 3.3 |

1) 平成8年~9年分析分(サンプル数55)



写真1 バッグより出され, 給与されるのを待つ TM ウエット(鈴木牧場)

成4年秋に見学に行った牧場で TM ウエットと, それに対応した乳配(TM ベース)の給与メニューで, 産乳量をアップしていることに興味を持ち, それが TM ウエット導入のきっかけになったそうです。

現在, TM ウエットを1日1頭当たり10 kg, 自給飼料のイタリアン乾草を1~2 kg, 豆腐粕を4 kg, 当社乳配である「スノー酪らく1670」(CP 16%, TDN 70%, ビートパルプ・ヘイキューブ等の粗飼料源を約3割配合)を乳量に応じ, 10~15 kg 給与しています。1頭当たりの乳量は28~30 kg, 乳脂肪3.8~4.0%, 無脂固形8.6~8.7%という優秀な成績を, 夏場でも落とすことなく通年で収められています。

TM ウエットに切り替えてからは, 6,000 kg の牛群を飼養しているような感覚で8,500~9,000 kg まで楽に伸び, また, 繁殖で困る牛がいなくなったそうです。鈴木さんからは「品質が安定している飼料を常時供給できるため, 基礎飼料として安心して使用できる。これが我々酪農家にとって最大のメリットだ」と TM ウエットに対する評価をいただきました。



写真2 TM ウエットは嗜好性も抜群（鈴木牧場）

## 2 村瀬信治牧場（岐阜県恵那郡蛭川村）

村瀬牧場では TM ウエットをご使用頂いて3年が経過しました。以前は自給飼料の他にスーダグン乾草とルーサン乾草を使用していましたが、特にスーダグン乾草の品質が安定しなかったことから、繊維源として安定して使える飼料を模索していました。そんな時、当社の種子カタログに掲載されていた TM ウエットの記事に興味を持ち、また、乾草の代替として使用でき、夏場でも食い込みがよいとの説明から、使用していただける運びとなりました。

現在の給与メニューは、1日1頭当たり9～10kgの TM ウエット、ルーサン乾草と自給飼料（トウモロコシ、グラスのサイレージ）、加えて濃厚飼料として既存の乳配と自家配を混ぜたものです。

TM ウエットを使用する前は、なかなか25kgを超えられなかった平均乳量が、自家配の内容変更等の要因もあるものの、TM ウエットを使い始めてから、通年で30kgを超すようになり、また、乳成分も乳脂肪3.8～4.0%、無脂固形8.7～8.8%と安定し、夏場でも乳脂肪のことをあまり気にしなくてよい様になりました。

村瀬牧場では、牛飼いの給与管理の基本として、乾物をできるだけ多く食い込ませることをメインに置いています。乳量を搾ることよりも、食わせることを目的で使用した TM ウエットですが、結果的に乳量の増加につながりました。「TM ウエットは年間を通して同じ品質、成分で食わせることにメリットがある」と語っていただきました。

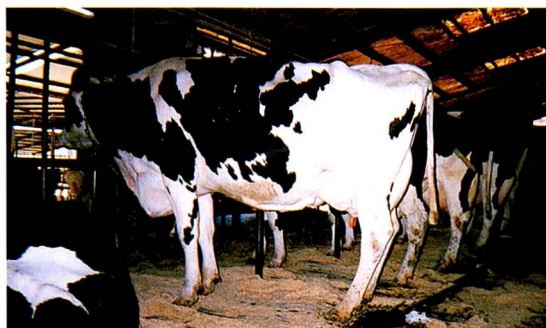


写真3 牛が大きく、汚れが付着していない牛群（村瀬牧場）

## 3 宮星牧場（沖縄県宮古島下地町）

宮星牧場は、乳牛100頭と肉牛100頭を飼養しています。毎年6月頃から暑熱によるストレスが強くなり、食い込みが低下し始めるそうです。そこで、夏場の食い残しをなくする手段として TM ウエットを取り入れられ、現在で丸1年が経過しています。TM ウエットの導入に際し決め手となったのは、安定した品質のものが入手できること、夏場の食い込み向上が期待できる点でした。

給与開始後、悩まれていた夏季の食い残しがほとんどなくなり、当初の目的を果たしているとの評価を頂いております。サイレージ飼料である TM ウエットは、品質が一定しているので夏季でも食い込みが良く、ルーメン発酵を安定させるため、他の粗飼料の食い込みがよくなると判断されています。

### おわりに

今回、ここに紹介した3牧場の他にも、多くの牧場で TM ウエットに対して好評を頂いています。これらの皆さんは、「安定した品質の粗飼料（サイレージ）を常時、牛に給与できる」ことを最大のメリットと感じています。また、TM ウエットの給与により乳量が伸びた、乳成分が向上した、ふんが固くなった等、牛の健康や経営的なメリットを感じている方も多くいらっしゃいます。

尚、「TM ウエット」に関する詳しい資料をお望みの方は、最寄りの営業所、または当千葉研究農場までご一報下さい。